

震災復興イベント

「るねっ・サイエンス あれから3年・・・」について

- 1 開催趣旨 震災から3年を迎えるにあたり、地震やそれに伴う災害について正しい科学的知識を伝えるとともに、震災の記憶を風化させず後世に正しく伝えて行くことを目的とする。また、科学の楽しさを普及啓発しながら、仙台、宮城、東北の皆さんを元気にしていくイベントを行う。
- 2 期 日 平成26年3月9日(日) 10:00～15:30
※11日は平日ため、多くの方に見ていただくため日曜日に実施
- 3 会 場 科学館3階エントランスホール
- 4 実施内容
 - 1) 講演会 「津波堆積物調査とコンピューターシミュレーションから大津波の実態を探る
ー東北地方を襲った現在・過去の大津波についてー」
 - ① 開催時間
11:00～12:00
 - ② 講師
東北大学災害科学国際研究所
災害リスク研究部門低頻度災害リスク研究部門
助教 菅原 大助 氏
 - 2) 仙台大専生が取り組んだ競技ロボットに関するデモンストレーション
 - ① 開催時間
1回目 10:00～10:30 (30分間)
2回目 12:30～13:00 (30分間)
3回目 15:00～15:30 (30分間)
 - ② 内容
 - ・生徒による説明(震災後の製作への取り組む意識の変化も含む)
 - ・デモンストレーション
 - ・デモンストレーション以外の時間は、ロボットと解説を展示する。
 - 3) 学生サークル「東北大学 Windnauts」による鳥人間コンテスト優勝機復元
 - ① 復元作業の解説
 - ・開催時間 常時(但し13:30～14:30の時間は除く)
 - ・場所 3階エントランス
 - ② トークイベント「鳥人間コンテストを振り返って」
 - ・開催時間 13:30～14:30
 - ・内容 2011年、2012年の「東北大学 Windnauts」代表によるトークイベント

4) ワークショップ「地震について学ぼう」

① 開催時間

- 1回目 10:35～10:55 (20分間)
- 2回目 12:05～12:25 (20分間)
- 3回目 13:05～13:25 (20分間)
- 4回目 14:35～14:55 (20分間)

② 内容

- ・しゅう曲・断層・津波の仕組み(科学館学習地学教材)
地学実験で使用した実験器具を用いて、ワークショップを実施する。
- ・液状化の仕組み(科学館学習地学教材)
地学実験で使用した実験器具を用いて、ワークショップを実施する。

5) パネル展「蒲生干潟の今昔」

① 展示期間

3月1日(土)～3月16日(日)

② 内容

昨年度も実施した震災後の蒲生干潟に関する調査の報告についてパネル等を用いて展示する。

5 広報に関して

- ・市政だよりやフリーペーパー等にて広報する。
- ・科学館ホームページにて、詳細な情報を発信する。
- ・事前に来館者向けにPRを行う。

6 その他

- ・3月1日(土)より、3階生活系展示室にて「被災ミュージアムの再興に向けて」が展示される。内容は、震災で被災した「歌津魚竜館」と「おしかホエールランド」に収蔵されていた自然史資料の展示を行う。